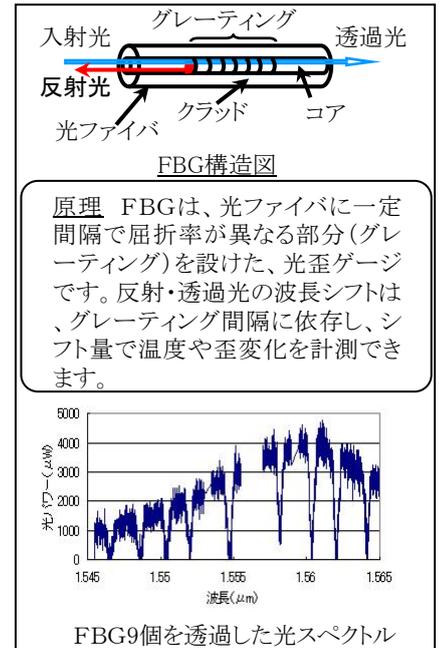


1. 光ファイバー雨量センサの概要

- 光ファイバー雨量計測システムは、既存の電気式雨量計の電気信号を、光方式歪ゲージであるFBGを用い光信号に変換、遠隔の光計測装置に伝え、光計測装置は光信号を電気パルス信号に変換、テレメータ装置などに伝送する機能を持っています。

2. 光ファイバ雨量センサの特徴

- 電気式雨量計は改造不要です。検定もそのままです。
- 本センサーには商用電源が不要です。
- 雨量光変換装置はバッテリーで1年間動作します。
- 本センサーのパルス出力を、既存のテレメータ装置に接続できます。
- 伝送系は光ファイバーで、雷害の影響を受けません。
- メンテナンスが容易で、維持管理費が縮減できます。

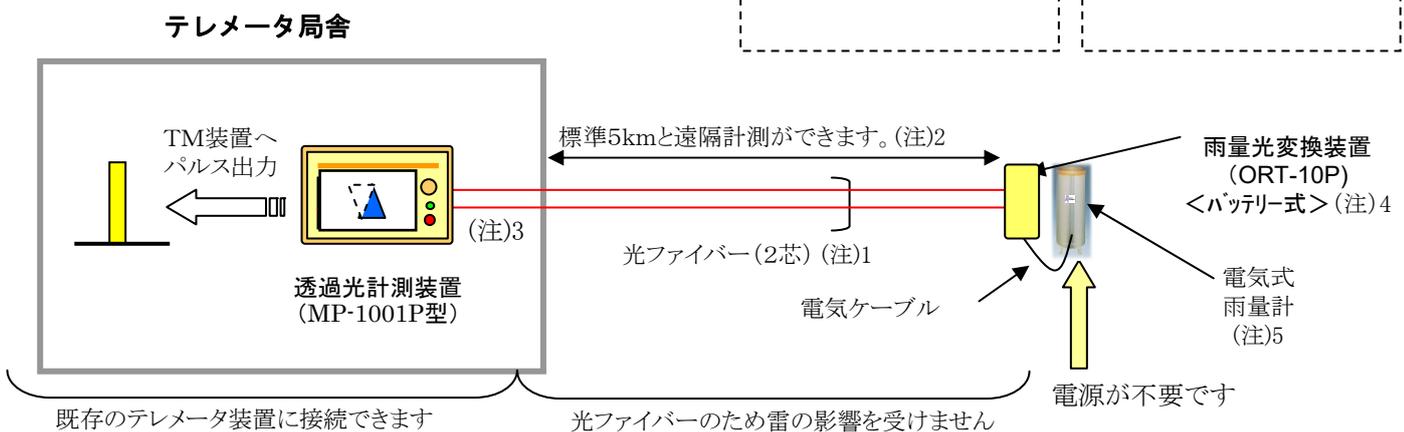
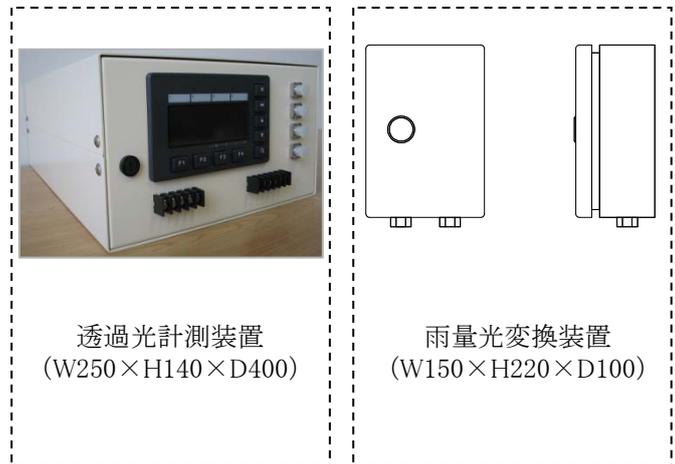


3. 光ファイバー雨量センサの仕様

本システムは、次の状況下で効果を発揮します。

- 電源確保が困難
- テレメータなどの無線が届きにくい
- リアルタイムデータ取得
- 伝送系の2重化
- 雷が多発

4. 光ファイバー雨量センサの構成



- (注) 1.光ファイバーはSM型(シングルモード)を使用します。
- 2.光ファイバーの伝送距離は、光ファイバケーブル設備の状態により10km程度以上に拡張が可能です。
- 3.光スイッチーを使用し、1台の透過光測定装置を共用し、5ルート(雨量計5台)の計測も可能です。
- 4.雨量光変換装置のバッテリーは1年で交換が必要です。(アルカリ単1電池×2本)
- 5.雨量計は既存機器をそのまま使用します。雨量計検定の取扱に変更はありません。